

三重県内の治安情勢（令和2年中）

1 「刑法犯」の認知・検挙状況

前年と比べ、認知件数は1,762件（17.1%）減少した。

	認知件数	検挙件数	検挙人員	検挙率
令和2年	8,560	3,591	1,863	42.0%
令和元年	10,322	3,829	1,938	37.1%
増減数	-1,762	-238	-75	
増減率	-17.1%	-6.2%	-3.9%	4.9P

2 「重要犯罪」の認知・検挙状況

前年と比べ、認知件数の総数は微減し、検挙率は5.2ポイント上昇した。

		総数	殺人	強盗	放火	強制性交等	略取・誘拐	強制わいせつ
令和2年	認知件数	71	12	10	7	15	0	27
	検挙件数	71	11	14	6	16	0	24
	検挙人員	70	18	13	4	16	0	19
	検挙率	100.0%	91.7%	140.0%	85.7%	106.7%	—	88.9%
令和元年	認知件数	77	6	16	6	14	0	35
	検挙件数	73	8	15	6	11	0	33
	検挙人員	70	7	22	6	10	0	25
	検挙率	94.8%	133.3%	93.8%	100.0%	78.6%	—	94.3%
検挙率の増減		5.2P	-41.6P	46.2P	-14.3P	28.1P	—	-5.4P

3 「重要窃盗犯」の認知・検挙状況

前年と比べ、認知件数の総数は253件減少し、検挙率は12.9ポイント低下した。

		総数	侵入盗	自動車盗	ひったくり	すり
令和2年	認知件数	1,015	957	52	5	1
	検挙件数	609	549	56	1	3
	検挙人員	82	69	11	1	1
	検挙率	60.0%	57.4%	107.7%	20.0%	300.0%
令和元年	認知件数	1,268	1,130	125	11	2
	検挙件数	924	866	55	2	1
	検挙人員	104	81	21	2	0
	検挙率	72.9%	76.6%	44.0%	18.2%	50.0%
検挙率の増減		-12.9P	-19.2P	63.7P	1.8P	250.0P

4 「特殊詐欺」の発生状況

前年と比べ、認知件数の総数は30件増加し、同被害額は約2億8,590万円増加した。

		総数	オレオレ詐欺	預貯金詐欺	架空料金請求詐欺	融資保証金詐欺	還付金詐欺	左記5類型以外	キャッシュカード詐欺盗
令和2年	件数	122	1	46	35	6	1	3	30
	被害額(万円)	42,820	120	5,630	29,160	1,080	100	2,010	4,710
		総数	オレオレ詐欺	架空請求詐欺	融資保証金詐欺	還付金等詐欺	左記4類型以外	特殊詐欺(窃盗)	
令和元年	件数	92	38	29	6	5	1	13	
	被害額(万円)	14,220	3,520	6,970	850	450	50	2,380	
		総数	オレオレ詐欺+預貯金詐欺	架空(料金)請求詐欺	融資保証金詐欺	還付金(等)詐欺	左記区分以外	キャッシュカード詐欺盗(特殊詐欺(窃盗))	
増減数	件数	30	9	6	0	-4	2	17	
	被害額(万円)	28,590	2,230	22,190	230	-350	1,960	2,330	

※ 令和元年当時の特殊詐欺の総数は、当時の定義上、職権盗などの特殊詐欺と同視し得る窃盗（上記表において特殊詐欺（窃盗）と表示）は特殊詐欺に含まれないので、発生件数は79件、被害額は約1億1,840万円である。

※ 預貯金詐欺は、令和元年は「オレオレ詐欺」の手口類型に「警察官等を騙りキャッシュカード等をだましとる手口」として含有されていたことから、令和元年は「オレオレ詐欺」として一括計上している。

※ 預貯金詐欺の被害額は、キャッシュカードが被害品であった場合のATM等からの引出し額を含む。

※ 各類型別の被害額と合計額をそれぞれ別個に四捨五入して計算しているため、金額に若干の誤差が生じている。

5 「暴力団・薬物事犯」の検挙状況

前年と比べ、暴力団検挙人員は17人（-12.5%）減少した。

前年と比べ、薬物事犯検挙人員の増減はなかった。

	暴力団検挙人員			薬物事犯検挙人員			
		刑法犯	特別法犯		覚醒剤	大麻	その他薬物
令和2年	119	93	26	115	79	31	5
令和元年	136	99	37	115	85	30	0
増減数	-17	-6	-11	0	-6	1	5
増減率	-12.5%	-6.1%	-29.7%	0.0%	-7.1%	3.3%	

6 「来日外国人犯罪」の検挙状況

前年と比べ、検挙件数の総数は46件（21.7%）増加した。

	検挙件数			検挙人員		
		刑法犯	特別法犯		刑法犯	特別法犯
令和2年	258	160	98	160	92	68
令和元年	212	146	66	120	68	52
増減数	46	14	32	40	24	16
増減率	21.7%	9.6%	48.5%	33.3%	35.3%	30.8%

7 「非行少年等」の検挙・補導状況

(1) 非行少年の検挙・補導人員

前年と比べ、非行少年の総数は37人（-13.7%）減少した。

	総数	検挙・補導人員		
		刑法犯少年	特別法犯少年	〇犯少年
令和2年	234	197	37	0
令和元年	271	237	33	1
増減数	-37	-40	4	-1
増減率	-13.7%	-16.9%	12.1%	0.0%

※ 非行少年とは、犯罪又は触法行為若しくは〇犯行為により検挙又は補導された少年をいう。

(2) 不良行為少年の補導人員

前年と比べ、不良行為少年は微減した。

令和2年	1,989
令和元年	2,001
増減数	-12
増減率	-0.6%

※ 不良行為少年とは、喫煙、飲酒、深夜はいかい等により補導された少年をいう。

8 「交通事故」の発生状況

前年と比べ、人身事故件数、負傷者数共に減少し、死者数も2人減少した。

	人身事故件数	死者数	負傷者数		
				重傷	軽傷
令和2年	2,966	73	3,732	491	3,241
令和元年	3,647	75	4,688	580	4,108
増減数	-681	-2	-956	-89	-867
増減率	-18.7%	-2.7%	-20.4%	-15.3%	-21.1%